

# 先輩の支払いシーンにおける後輩の視線と集中力を検証 「The Supper～計測された会食～」 3月31日(火)より公開



ビザ・ワールドワイド(以下:Visa、代表取締役:岡本和彦、所在地:東京都千代田区)は、先輩と後輩の会食時における支払いシーンを検証したムービー「The Supper～計測された会食～」を、2015年3月31日(火)より公開いたします。後輩全員が先輩の支払いシーンに注目。ゴールドカードによる支払いが、最も後輩の集中力を上昇させる結果となりました。また、後輩のコメントより、ゴールドカードは信頼感やかっこよさ、憧れを抱かせる支払い方法であることが分かりました。

「The Supper～計測された会食～」は、若いうちから管理職、マネージャー職に着任し、人前での支払いを担うことが多い20代後半から30代中盤のビジネスマンをターゲットとしたムービーです。ゴールドカードを持つことでうまれる心理的な影響を様々な角度で検証、実験すべくVisaが立ち上げた「Visa Gold Lab」の企画第一弾となります。先輩1名と後輩3名のチームで構成された計3チームの会食シーンを検証いたしました。3名の先輩は、現金、クラシックカード、ゴールドカードのそれぞれ異なる支払い方法で会食費を精算します。後輩は、ウェアラブルカメラと脳波測定デバイスを装着し、会食に参加。会食時、後輩が先輩のこういった行動に着目するか、また、その行動に対しての集中力の変化を調査いたしました。

**後輩全員が先輩の支払いシーンに注目。  
ゴールドカードによる支払いが後輩の集中力を最も上昇させる結果に。**

ウェアラブルカメラを用いた視線の認識により、各チーム3名の後輩全員(9名)が、先輩の支払いシーンを目視していたことが分かりました。また、先輩の支払いシーン前後の後輩の集中力の変化を調査。支払いシーンに差し掛かるにつれ、9名の後輩全員の集中力は上昇する結果に。「一つのことだけを考えること」で集中力は高まることから、このシーンで後輩は先輩の支払う行動のみを考えていたことがわかります。また、支払い前後の集中力の上昇度を見ると、現金(45%)、クラシックカード(37%)、ゴールドカード(64%)となり、ゴールドカードが後輩の集中力を最も上昇させた支払い方法となりました。今回の検証から、後輩は先輩が支払うシーンと、支払い方法に注目していることが明らかとなりました。



【支払いシーンの後輩の目線】

| チーム      | 後輩 各3名の平均値 |      |         |
|----------|------------|------|---------|
|          | 支払い前       | 支払い後 | 集中力の上昇度 |
| 現金       | 43%        | 88%  | 45%     |
| クラシックカード | 32%        | 69%  | 37%     |
| ゴールドカード  | 20%        | 84%  | 64%     |

【支払い前後の集中力の上昇度(後輩 各3名の平均値)】

## 後輩のインタビューコメント

